

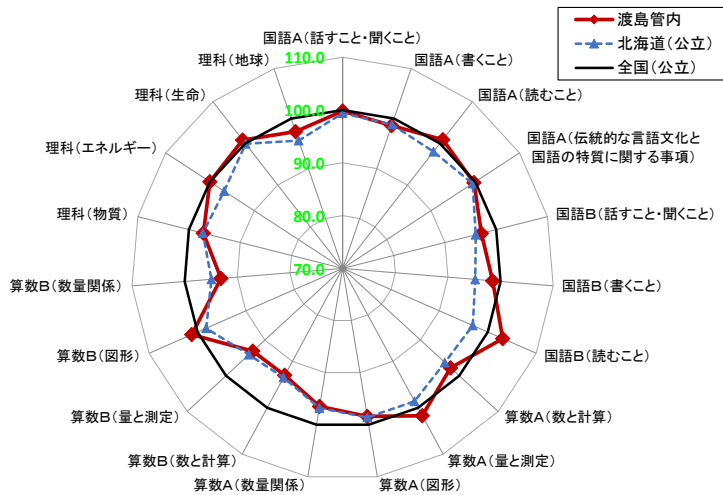
■小学校の状況(学校数:87校、児童数:2691人)

【平均正答率】

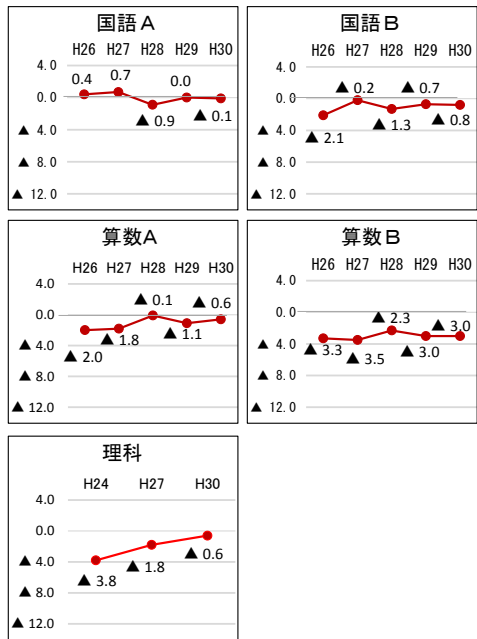
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
渡島	71[70.6]	54[53.9]	63[62.9]	49[48.5]	60[59.7]
全国	71[70.7]	55[54.7]	64[63.5]	52[51.5]	60[60.3]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したものと(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

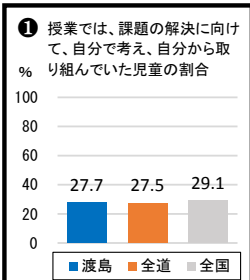


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

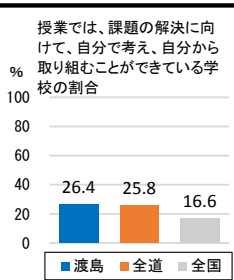
【質問紙の状況】

指導方法

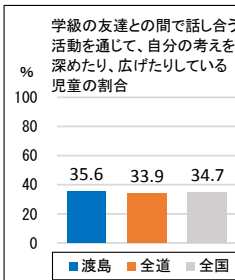
* 児童質問紙



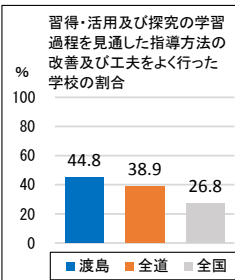
* 学校質問紙



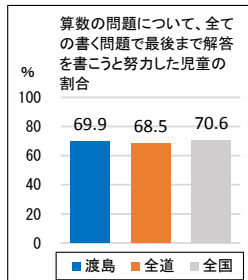
* 児童質問紙



* 学校質問紙

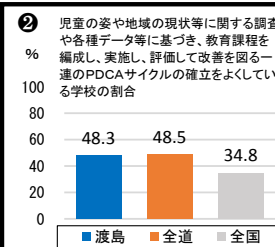


* 児童質問紙

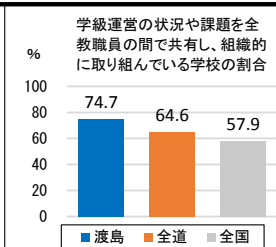


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

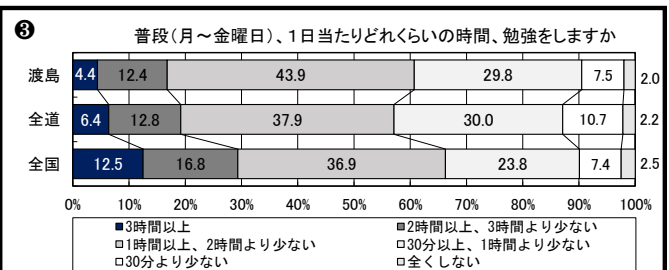


* 学校質問紙



学習習慣

* 児童質問紙



【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、理科の「エネルギー」で同じ、国語A・Bの「読むこと」、算数Aの「量と測定」、Bの「図形」、理科の「生命」で上回っている。 ○ 全国と比較し、国語A・Bの「話すこと・聞くこと」「書くこと」、算数A・Bの「数と計算」「数量関係」、理科の「物質」などで下回っている。特に、算数Bの「数と計算」「量と測定」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができている学校の割合は26.4%であり、全国を上回っているが、授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた児童の割合は27.7%であり、全国を下回っていることから、児童が見通しをもち、課題解決に向けて主体的に取り組むことができるよう、授業改善を図る必要がある。 ② 学級運営の状況や課題を全教職員で共有し、組織的に取り組んでいる学校の割合は74.7%、児童の姿や地域の現状等に関する調査やデータ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルの確立をよめている学校の割合は48.3%であり、全国を上回っているが、全ての学校でのPDCAサイクルの確立に向け、取組を進める必要がある。 ③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している児童の割合は60.7%であり、全国を下回っていることから、同一中学校区の学校で家庭学習週間を設定するなど、家庭学習の習慣の確立に向けた取組を徹底する必要がある。

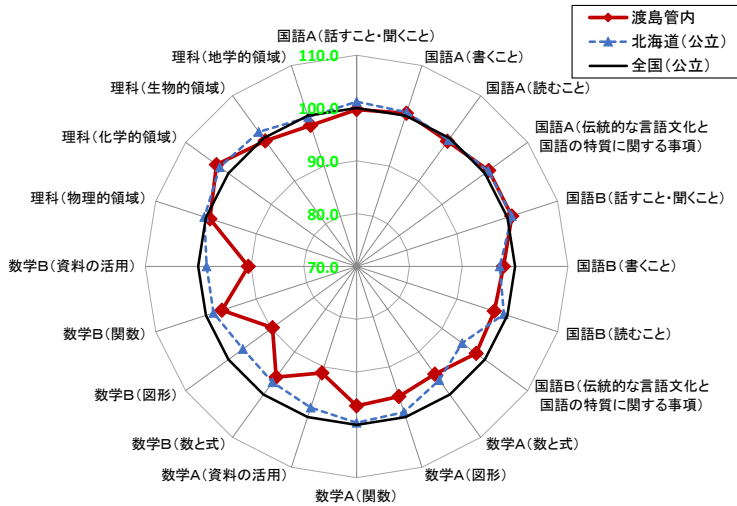
■中学校の状況(学校数:42校、生徒数:2767人)

【平均正答率】

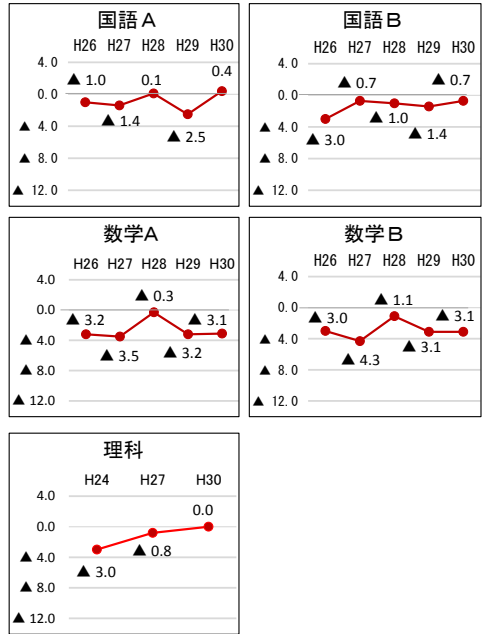
	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
渡島	77[76.5]	61[60.5]	63[63.0]	44[43.8]	66[66.1]
全国	76[76.1]	61[61.2]	66[66.1]	47[46.9]	66[66.1]

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの
(全道及び管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の推移】(数値は管内の数値)

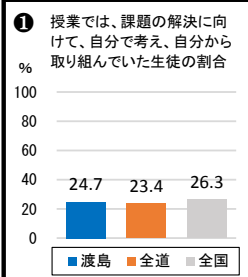


※「管内の平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の経年変化

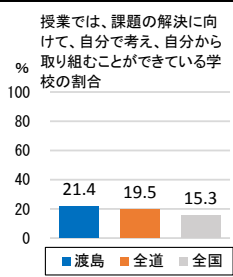
【質問紙の状況】

指導方法

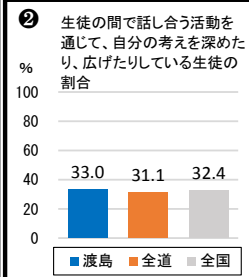
* 生徒質問紙



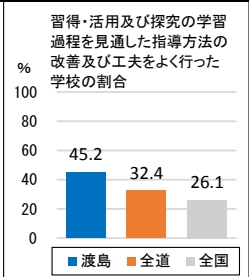
* 学校質問紙



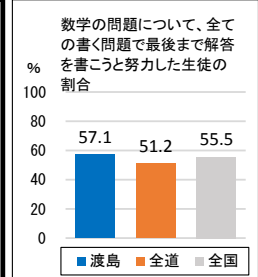
* 生徒質問紙



* 学校質問紙

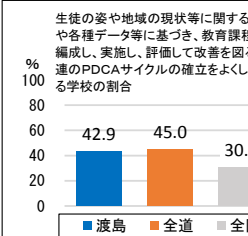


* 生徒質問紙

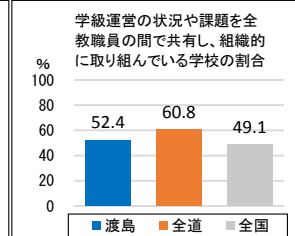


カリキュラム・マネジメント

* 学校質問紙

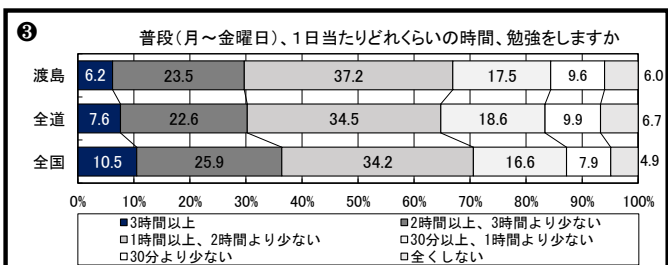


* 学校質問紙



学習習慣

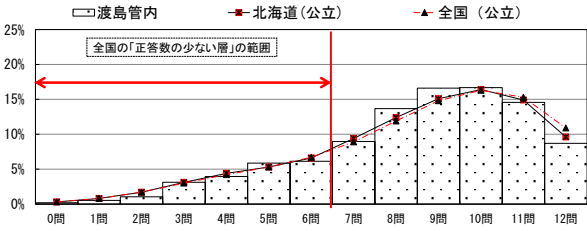
* 生徒質問紙



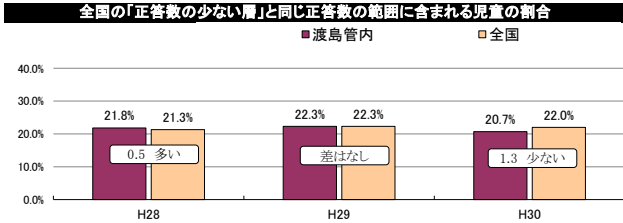
【分析及び改善の方向性】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と比較し、国語Aの「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bの「話すこと・聞くこと」、理科の「化学的領域」で上回っている。 ○ 全国と比較し、数学A・Bの全ての領域で下回っている。特に、数学Aの「資料の活用」、Bの「図形」「資料の活用」で差が大きいことから、指導計画及び指導方法の工夫改善に取り組む必要がある。
質問紙	<p>① 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができる学校の割合は21.4%であり、全国を上回っているが、授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合は24.7%であり、全国を下回っていることから、生徒が見通しをもち、課題解決に向けて主体的に取り組むことができるよう、授業改善を図る必要がある。</p> <p>② 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った学校の割合は45.2%、生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしている生徒の割合は33.0%であり、いずれも全国を上回っているが、12.2ポイントの差があることから、生徒が思考を深めたり、広げたりしていることを実感できるよう、指導方法の改善を図る必要がある。</p> <p>③ 普段(月～金曜日)、1日当たり1時間以上勉強している生徒の割合は66.9%であり、全国を下回っていることから、「家庭学習の手引」等を活用して家庭学習の必要性を理解させるなど、家庭での学習習慣の確立に向けた取組を徹底する必要がある。</p>

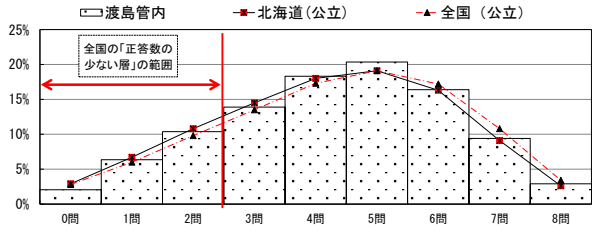
小学校国語A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,691	8.5 / 12	70.6	9.0	2.5
北海道(公立)	39,610	8.4 / 12	70.1	9.0	2.6
全国(公立)	1,030,025	8.5 / 12	70.7	9.0	2.7



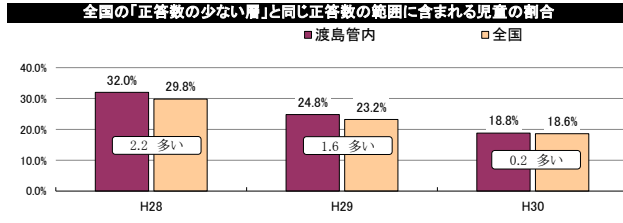
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



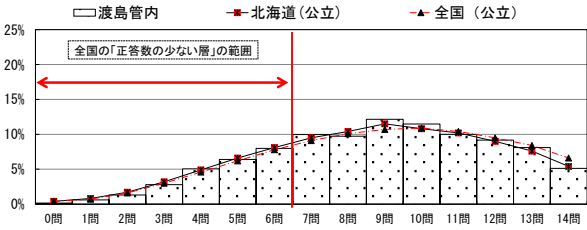
小学校国語B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,692	4.3 / 8	53.9	4.0	1.9
北海道(公立)	39,599	4.2 / 8	52.7	4.0	1.9
全国(公立)	1,029,799	4.4 / 8	54.7	5.0	1.9



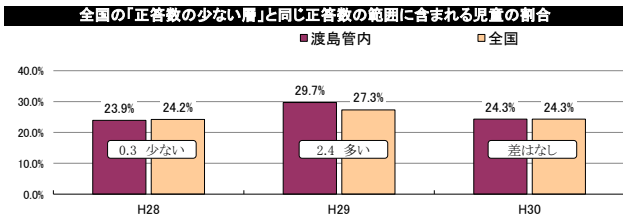
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



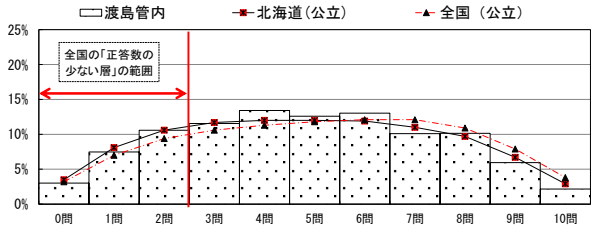
小学校算数A					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,691	8.8 / 14	62.9	9.0	3.1
北海道(公立)	39,610	8.7 / 14	62.2	9.0	3.2
全国(公立)	1,030,013	8.9 / 14	63.5	9.0	3.2



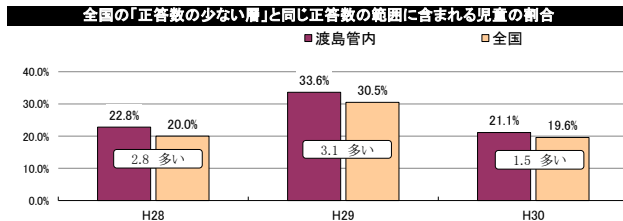
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



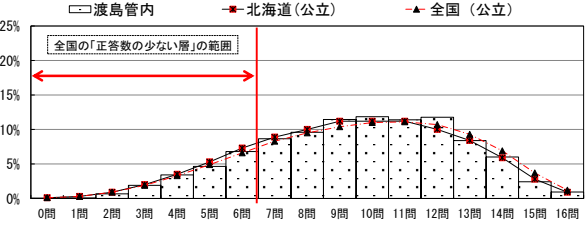
小学校算数B					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,692	4.9 / 10	48.5	5.0	2.5
北海道(公立)	39,603	4.9 / 10	48.7	5.0	2.6
全国(公立)	1,029,847	5.1 / 10	51.5	5.0	2.7



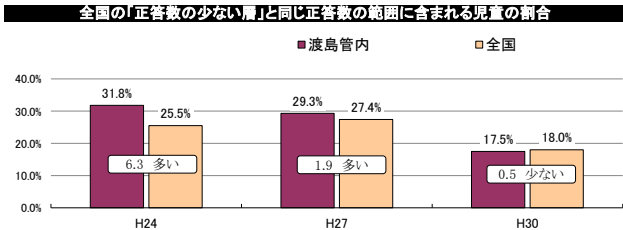
●全国の「正答数の少ない層」は、2問以下の正答数



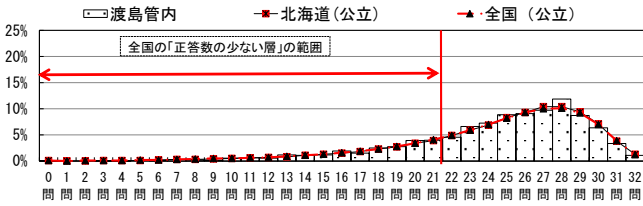
小学校理科					
	児童数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,692	9.5 / 16	59.7	10.0	3.0
北海道(公立)	39,617	9.4 / 16	58.8	10.0	3.1
全国(公立)	1,029,828	9.6 / 16	60.3	10.0	3.2



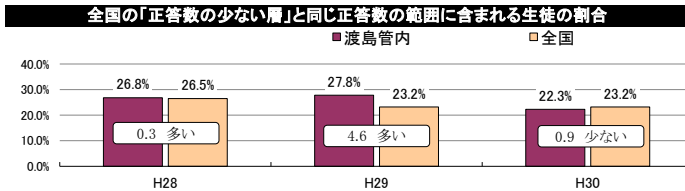
●全国の「正答数の少ない層」は、6問以下の正答数



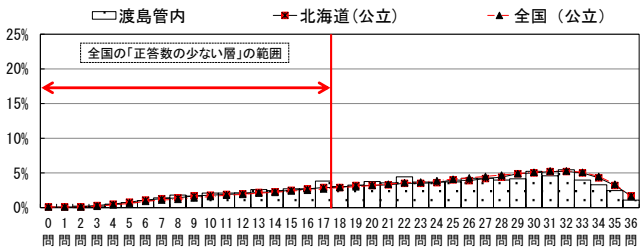
中学校国語A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,767	24.5 / 32	76.5	26.0	4.8
北海道(公立)	39,656	24.5 / 32	76.6	26.0	5.1
全国(公立)	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3



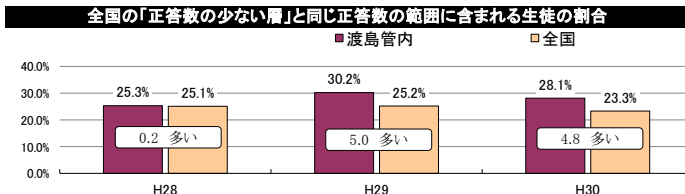
●全国の「正答数の少ない層」は、21問以下の正答数



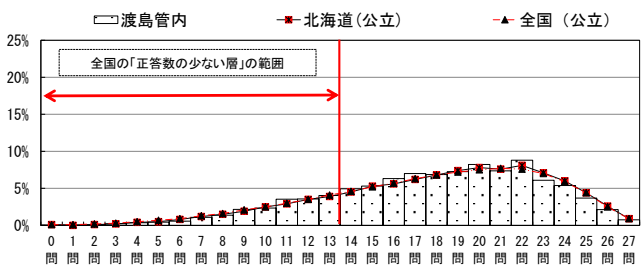
中学校数学A					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,768	22.7 / 36	63.0	24.0	8.2
北海道(公立)	39,665	23.4 / 36	64.9	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1



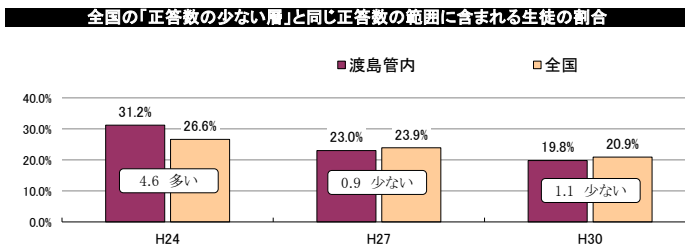
●全国の「正答数の少ない層」は、17問以下の正答数



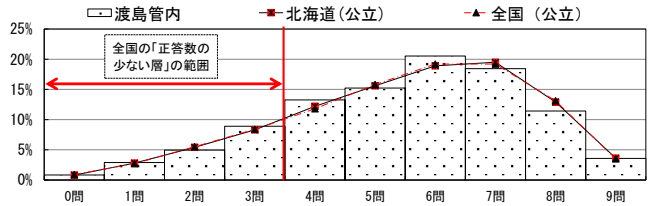
中学校理科					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,770	17.8 / 27	66.1	18.0	4.9
北海道(公立)	39,683	18.0 / 27	66.7	19.0	5.1
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2



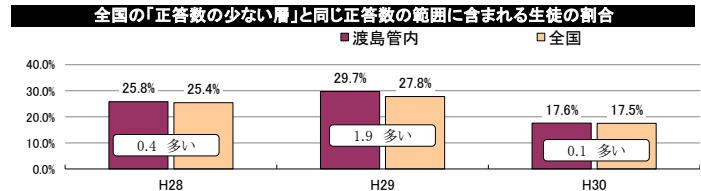
●全国の「正答数の少ない層」は、13問以下の正答数



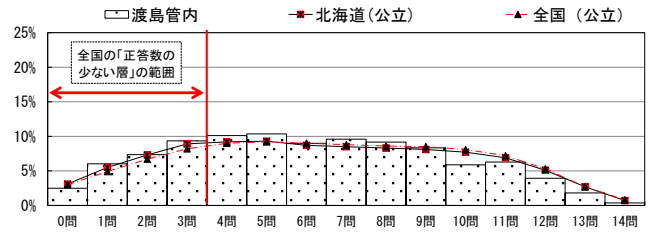
中学校国語B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,767	5.4 / 9	60.5	6.0	2.0
北海道(公立)	39,654	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0
全国(公立)	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0



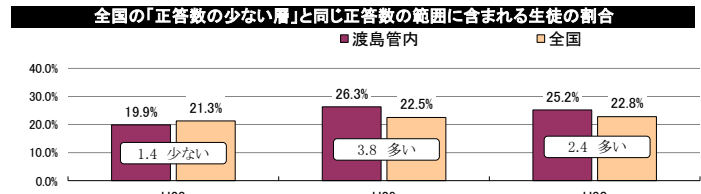
●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



中学校数学B					
	生徒数	平均正答数	平均正答率(%)	中央値	標準偏差
渡島管内	2,772	6.1 / 14	43.8	6.0	3.3
北海道(公立)	39,671	6.4 / 14	45.8	6.0	3.5
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5



●全国の「正答数の少ない層」は、3問以下の正答数



【参考】【平成27年度(小学校)】全国の「正答数の少ない層」と同じ範囲に含まれる児童の割合

小学校国語A		
渡島管内	全国	差
28.9%	29.4%	0.5少ない
H30中3 : 0.9少ない		

小学校国語B		
渡島管内	全国	差
27.1%	26.5%	0.6多い
H30中3 : 0.1多い		

小学校算数A		
渡島管内	全国	差
24.0%	21.7%	2.3多い
H30中3 : 4.8多い		

小学校算数B		
渡島管内	全国	差
29.2%	25.2%	4.0多い
H30中3 : 2.4多い		

小学校理科		
渡島管内	全国	差
29.3%	27.4%	1.9多い
H30中3 : 1.1少ない		